

科目名	世界文学としての 日本文学	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			国際観光学科	□必修 ■選択	
			学科	□必修 □選択	
英文表記	Japanese Literature in the World	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年		
		開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中		
ふりがな	はしもと しほ	実務家教員担当科目		修得単位	2単位
担当者名	橋元志保	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	インターネット時代の到来、英語の世紀の始まりの中で、日本語・日本文学は生きのびることができるのか。日本の近現代文学とサブカルチャーの最高峰の作品に触れながら、皆で考えていこう。				
到達目標	この授業の単位を良好な成績で修得した場合、次のような知識・能力が身につきます。 1. 日本の近代から現代にかけての文学史と主要作品を理解できるようになる。 2. ノーベル文学賞受賞者の小説・評論をはじめとする、優れた文学を読み解くことができる。 3. 小説や評論の読解力が身につく、併せて思考力、表現力も涵養することができる。				
授業概要	ゲーテが夢見た「世界文学」は、インターネット時代の到来によって、時間・空間・地域の壁が崩れ去り、現実のものとなりつつあります。それは、一方で多様な民族の言語、国民国家における国語の優位性を脅かし、世界共通語としての英語の普遍化をいっそう促進させるものです。そのような英語の世紀に、日本語・日本文学はどこまで生きのびることが出来るのでしょうか。また、日本の近代文学が、自国以外の文学・文化の影響を受けて成立し、またどのようにして海外の読者にも享受されるようになったのか、近代文学史を辿りながら、一緒に学んでいきましょう。そして、世界文学として普遍性を持ちつつある日本の優れた作品を、ノーベル文学賞受賞者の小説から、サブカルチャーの代表としての『鬼滅の刃』まで取り上げて、皆で読み解いていきたいと考えています。				
授業計画					
第1回	世界の中の日本文学ーインターネット時代の英語と日本語・日本文学ー				
第2回	『鬼滅の刃』の世界観Ⅰー鬼と人の文化史ー				
第3回	『鬼滅の刃』の世界観Ⅱー鬼狩りたちの系譜ー				
第4回	近代の外国文学受容ー漱石のロンドン、鷗外のベルリンー				
第5回	漱石の異文化体験ー『倫敦消息』『倫敦塔』を読むー				
第6回	日本人初のノーベル文学賞受賞ー川端康成「美しい日本の私」よりー				
第7回	川端康成の描いた日本の美と自然ー『雪国』を中心にー				
第8回	谷崎潤一郎・三島由紀夫の文学ー翻訳事情と海外における受容ー				
第9回	二度目のノーベル文学賞受賞ー大江健三郎「あいまいな日本の私」よりー				
第10回	大江健三郎の文学ー『飼育』『芽むしり仔撃ち』を読むー				
第11回	日系イギリス人のノーベル文学賞受賞ーカズオ・イングロ 人と作品ー				
第12回	カズオ・イングロの文学ー『わたしを離さないで』を読むー				
第13回	新しい世界文学に向けてー村上春樹 人と作品ー				
第14回	村上春樹の文学ー『ノルウェイの森』を読むー				
第15回	総括ー世界は日本文学をどう読むのかー				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	1. 授業で取り上げる小説や資料を、指定された頁まで必ず読んでおきましょう。難解な語句や漢字は必ず辞書でその意味を調べましょう（1時間程度）。 2. 毎回課題プリントを配布しますので、授業内容を復習しながら記述し、提出してください（1時間程度）。 3. 授業の際に紹介した小説や評論等をぜひ読みましょう（1～2時間程度）				
履修条件	「文章の読み方」「日本の文学」等を受講し、単位を修得していることが望ましい。それ以上に、授業態				

受講のルール	度が真面目で、主体的であることが望ましい。
テキスト	資料を配布します。川端康成『雪国』（新潮文庫） 大江健三郎『あいまいな日本の私』（岩波新書） カズオ・イシグロ『わたしを離さないで』（早川書房）他
参考文献・資料	授業時に紹介します。夏目漱石『漱石全集』第2巻（岩波書店） 川端康成『一草一花』（講談社文芸文庫） 水村美苗『増補 日本語が亡びるときー英語の世紀の中で』（筑摩書房）他
成績評価の方法	【主体的な学びの姿勢（15%）、課題の提出（25%）、試験（60%）】の総合評価とします。 1. 出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることが出来ません。 2. 出席確認時に不在だった場合、原則としてその回は欠席とします。 3. 講義中に無許可で退出した場合は、欠席とします。 4. 授業中の迷惑行為は厳禁です。そのような行為を繰り返し、注意しても改めない時は、履修または単位を認定できない場合があります。
オフィスアワー	火曜日（14:40～16:10）・木曜日（14:40～16:10） ※これ以外の時間は、事前に予約してください。
成績評価基準	秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	あらゆる文学賞の中でも、最も権威あるノーベル文学賞を受賞した作家の小説・エッセイを中心に講読を行います。世界的な文学に関心がある方、教養を身につけたい方はぜひ受講してください。